

第二十二回 宗像大社献詠短歌大会

福岡県知事賞に 永富 臻氏 (玄海町)



【特別賞】
 一席 福岡県知事賞 玄海町 永富 臻
 足跡を登るよ先ん我が山の杉生にかかる夏の夕虹
 二席 福岡県教育委員会賞 玄海町 藤本 雅子
 下関市 藤本 雅子
 結露を手繰れば重き手応へに草生より出て南風転び来

三席 宗像大社宮司賞 中関市 勝原たか子
 身障の子らの吹き交わすシヤボン玉遊みたる空へ光りつとつと
 四席 毎日新聞社賞 中関市 入江 茂
 跡継ぎのなき陶工の老いし背に塩ふく肌着の汗が臭へる

【佳作】
 一席 宗像市 小方万里子
 嫌味を混ぜたるわれの手に臭ふ人まばらなる昼の電車
 二席 筑紫野 中村 和子
 陽の光を纏ひ砕ける滝の水映の樹の間に虹を立たしむ

三席 玄海町 小田 いせ
 岩壁に絡める青蓮打ちかへす潮に揉まれてたゆたやまます
 四席 大宰府 小串 逸子
 叫び度き思ひの丈を吐きしむ

五席 毎日新聞社賞 下関市 細野 千恵
 江島若城賞に同じ
 六席 毎日新聞社賞 玄海町 森内由紀子
 手拭をとれば汗はむ髪の手を渡る稲田の風の梳き

七席 毎日新聞社賞 粕屋郡 近藤たみ子
 嘘ひとつ言ひて叱責したり仰く夏空しじみじみ眩し
 八席 毎日新聞社賞 福岡市 野口 幸三
 思はざる驟雨はけし夜となれば時きし大根を案じつつ臥す

九席 宗像市 木原 房子
 日を追ひて緑増しゆく稲田の中に飼はるる小鴨が見え隠れする
 十席 福岡市 堀内 澄子
 語らねば人の知るなき過去の吾にも遠くなりて夕づく

【選考賞】
 持田勝賞 宗像市 尾崎 潤子
 宗像の社の尾に風わたり遠世の声を聞く思いせり
 中西輝賞 福岡市 池浦千鶴子
 暴走族の音に目覚めて炊事場に研きわすれぬし米を洗り
 中村昌郎賞 玄海町 横山 雪子
 若き日の拾遺せば蜚蜚ひして布地に仕上げし姉の唄はゆ
 江崎輝賞 下関市 細野 千恵
 四月月の開閉終えて出版社に新しきハンカチ渡す

【五選賞】
 筑紫野 平田ヨシ子
 ふらふらとテープを切り倒れこむマランランナーの熱き執念
 江口富子賞
 初詣の参拝者大いに賑うお正月に新しい注連縄を、地元総代・協力会並びに大島から応援に駆けつけた沖中高宮奉賛会、同輩賛奉仕による、注連縄奉

七五三語で、菊花鑑賞と老若男女の参拝者大いに賑った十一月十四日(土) 第十一回宗像大社献詠短歌大会(主催)宗像大社歌会(後援)毎日新聞社外)が、当大社清明殿にて開催され、短歌愛好者約百名が旧交を温めた。

昭和四十六年の遷座祭を記念して、翌四十七年より我が国の伝統文化維持と教化の目的を以て毎年開催されておられ、参加者には先生方の批評、相互評は、歌を詠む上において非常に参考になると好評を得ている。大島目、先ず県内外より寄せられた百三十九首の詠草を神前に奉奠し、詠草大会奉生祭を挙行、新道の開典と参加者の平穩を祈念した。続いて大会に移り、開会詞、当大社兼父宮司の挨拶の後、本大会の発展と会員の指導に永年ご

尽力いただいた選考の持田勝、中西輝、中村昌郎各先生に感謝状と記念品を贈呈した。

次いで前九州歴史資料館長の田村園登先生が「歴史の宗像を訪ねて」と題して一時間講演、世界史、また日本史の中で大きな役割を果たした宗像大社・宗像族の歴史について詳しくお話ししていただき、参加者一同宗像大社の由緒を改めて認識していたようであった。

講演終了後昼食、午後一時より選考の先生方を中心し批評、相互評を行い、午後二時過ぎには、入選歌の発表並びに表彰式を執行し、今年の大会も滞りなく終了した。

尚、入選歌並びに各賞受賞は次の通り。
 ※大会開催規約により当日正午迄に出席なき方は、得票数が低くても受賞資格を喪失。

【選考賞】
 持田勝賞 宗像市 尾崎 潤子
 宗像の社の尾に風わたり遠世の声を聞く思いせり
 中西輝賞 福岡市 池浦千鶴子
 暴走族の音に目覚めて炊事場に研きわすれぬし米を洗り
 中村昌郎賞 玄海町 横山 雪子
 若き日の拾遺せば蜚蜚ひして布地に仕上げし姉の唄はゆ
 江崎輝賞 下関市 細野 千恵
 四月月の開閉終えて出版社に新しきハンカチ渡す

【五選賞】
 筑紫野 平田ヨシ子
 ふらふらとテープを切り倒れこむマランランナーの熱き執念
 江口富子賞
 初詣の参拝者大いに賑うお正月に新しい注連縄を、地元総代・協力会並びに大島から応援に駆けつけた沖中高宮奉賛会、同輩賛奉仕による、注連縄奉

【選考賞】
 持田勝賞 宗像市 尾崎 潤子
 宗像の社の尾に風わたり遠世の声を聞く思いせり
 中西輝賞 福岡市 池浦千鶴子
 暴走族の音に目覚めて炊事場に研きわすれぬし米を洗り
 中村昌郎賞 玄海町 横山 雪子
 若き日の拾遺せば蜚蜚ひして布地に仕上げし姉の唄はゆ
 江崎輝賞 下関市 細野 千恵
 四月月の開閉終えて出版社に新しきハンカチ渡す

【五選賞】
 筑紫野 平田ヨシ子
 ふらふらとテープを切り倒れこむマランランナーの熱き執念
 江口富子賞
 初詣の参拝者大いに賑うお正月に新しい注連縄を、地元総代・協力会並びに大島から応援に駆けつけた沖中高宮奉賛会、同輩賛奉仕による、注連縄奉

【選考賞】
 持田勝賞 宗像市 尾崎 潤子
 宗像の社の尾に風わたり遠世の声を聞く思いせり
 中西輝賞 福岡市 池浦千鶴子
 暴走族の音に目覚めて炊事場に研きわすれぬし米を洗り
 中村昌郎賞 玄海町 横山 雪子
 若き日の拾遺せば蜚蜚ひして布地に仕上げし姉の唄はゆ
 江崎輝賞 下関市 細野 千恵
 四月月の開閉終えて出版社に新しきハンカチ渡す

【五選賞】
 筑紫野 平田ヨシ子
 ふらふらとテープを切り倒れこむマランランナーの熱き執念
 江口富子賞
 初詣の参拝者大いに賑うお正月に新しい注連縄を、地元総代・協力会並びに大島から応援に駆けつけた沖中高宮奉賛会、同輩賛奉仕による、注連縄奉

【選考賞】
 持田勝賞 宗像市 尾崎 潤子
 宗像の社の尾に風わたり遠世の声を聞く思いせり
 中西輝賞 福岡市 池浦千鶴子
 暴走族の音に目覚めて炊事場に研きわすれぬし米を洗り
 中村昌郎賞 玄海町 横山 雪子
 若き日の拾遺せば蜚蜚ひして布地に仕上げし姉の唄はゆ
 江崎輝賞 下関市 細野 千恵
 四月月の開閉終えて出版社に新しきハンカチ渡す

【五選賞】
 筑紫野 平田ヨシ子
 ふらふらとテープを切り倒れこむマランランナーの熱き執念
 江口富子賞
 初詣の参拝者大いに賑うお正月に新しい注連縄を、地元総代・協力会並びに大島から応援に駆けつけた沖中高宮奉賛会、同輩賛奉仕による、注連縄奉

新着用注連縄奉製

大島からも駆け付け五十名が奉仕

製が十二日、十六日、二十日、二十四日、二十八日、三十日の六日、日曜日とあつて参拝者も多く、この珍しい注連縄奉製作業、足を止め、暫く見物する者が多し。

製が十二日、十六日、二十日、二十四日、二十八日、三十日の六日、日曜日とあつて参拝者も多く、この珍しい注連縄奉製作業、足を止め、暫く見物する者が多し。

初詣の参拝者大いに賑うお正月に新しい注連縄を、地元総代・協力会並びに大島から応援に駆けつけた沖中高宮奉賛会、同輩賛奉仕による、注連縄奉

初詣の参拝者大いに賑うお正月に新しい注連縄を、地元総代・協力会並びに大島から応援に駆けつけた沖中高宮奉賛会、同輩賛奉仕による、注連縄奉

初詣の参拝者大いに賑うお正月に新しい注連縄を、地元総代・協力会並びに大島から応援に駆けつけた沖中高宮奉賛会、同輩賛奉仕による、注連縄奉

初詣の参拝者大いに賑うお正月に新しい注連縄を、地元総代・協力会並びに大島から応援に駆けつけた沖中高宮奉賛会、同輩賛奉仕による、注連縄奉

初詣の参拝者大いに賑うお正月に新しい注連縄を、地元総代・協力会並びに大島から応援に駆けつけた沖中高宮奉賛会、同輩賛奉仕による、注連縄奉

初詣の参拝者大いに賑うお正月に新しい注連縄を、地元総代・協力会並びに大島から応援に駆けつけた沖中高宮奉賛会、同輩賛奉仕による、注連縄奉

初詣の参拝者大いに賑うお正月に新しい注連縄を、地元総代・協力会並びに大島から応援に駆けつけた沖中高宮奉賛会、同輩賛奉仕による、注連縄奉

初詣の参拝者大いに賑うお正月に新しい注連縄を、地元総代・協力会並びに大島から応援に駆けつけた沖中高宮奉賛会、同輩賛奉仕による、注連縄奉

年越の大祓式並びに 除夜祭の御案内

年の瀬を迎え、皆様方には御多忙の御事と拝察申し上げます。

一、十二月三十一日 午後五時 年越の大祓式
 引き続き除夜祭参拝
 一、皆様方に御送付申し上げました人形の赤白は、男女の区別を表したものであります。
 男は白、女は赤に氏名・年齢を書き、息を吹きかけ初穂料を添えられ十一月三十一日までに当大社へ到着するよう御返送下さい。
 宗像大社社務所

一話(ひとがた) 人形(ひとがた)

師走大晦日の大祓。宮中で親王以下百官を集め國中の罪穢を祓った。道業祭では悪魔が都に侵入するのを防ぐ為、四隅の路に供物を献ぐ祭りをを行う。共に人形を祓い水に流している。

古代の沖ノ鳥祭場から多量の人形が出土している。夏越の祓や年越の大祓には今も紙の人形を用いる。沖ノ鳥の祭りに使われる七世紀後半からの出現で、金属製から滑石製へ移行していく。御祭(紙製人形は22号(岩陰祭)と5号(平岩陰半露天祭)の祭場から出土している。金属製は量も少なく非常に短い期間で、滑石製に変わっている。滑石人形は沖ノ鳥国家祭祀の終末期にあたり、八世紀以降の1・3号祭場から出土している。ここでは雛形類も大形化し、形製と同様に素形も滑石が主力である。しかし雛形品のなかには金銅・銅・鉄を多く用いるものもあるが、沖ノ鳥では他所の形製をみる事が出来ない。人形の祭りは祓や道業祭である。沖ノ鳥は道業・大陸との外交は標準であり航海安全の国家祭祀であるが、原点はやはり山や峠の神祭である。祭祀が確立し人形が奉られるのは八世紀以降の祭儀からで、今も紙・木・竹・金属を用いた神に託す動物の形製を集中し、双方が相手となった。盤上の石だけに見れば段と堀田五段との対局となった。盤上の石だけに神の手を集中し、双方が相手の手を読み合う緊張した空気が流れる中、観戦者も手に汗を流す。観戦者も手に汗を流す。観戦者も手に汗を流す。

第十九回 宗像本因坊戦

宗像アマ開基のチャンピオンを決める。宗像本因坊戦。宗像本因坊戦。宗像本因坊戦。

宗像本因坊戦。宗像本因坊戦。宗像本因坊戦。宗像本因坊戦。

宗像本因坊戦。宗像本因坊戦。宗像本因坊戦。宗像本因坊戦。

宗像本因坊戦。宗像本因坊戦。宗像本因坊戦。宗像本因坊戦。

神宮大麻 宗像大社神符 頒布祭齋行



去る十一月二十六日、午前十一時より、当大社拝願殿に於て、平成五年神宮大麻並びに宗像大社神符の頒布祭が厳粛且盛大に執り行われた。

当日は、福岡県神社庁兼父副庁長(当大社宮司)、同宗像支部大澤支部長を始め、郡市内の神職及び総代約八十名が参列。祭典は、齋主中村氏修副支部長以下中参進、修職の後、神宮大麻が郡内各戸にくまなく奉納され、皇室の御祖先神であり、私達の総氏神である天照大神の御加護の下に、国民生活が平和で豊かな生活を送ることができるよう、又、大麻頒布に従事される氏子総代の方々が、病氣や

大島からのたより

宮崎殿島神社拝殿竣工
大島村宮崎に鎮座する殿島神社拝殿の竣工祭が、恒例の殿島神社祭に合わせ



十一月二十一日午前十一時より厳行された。旧拝殿は、昨年の九月十七日、九州全域に大きな号に倒壊。その一日も早い再建が待ち望まれていた。再建にあたっては、宮崎区長を代表とする有志が、宮崎区を中心に、浄財を募り、工事を地元大島出身の藤田建設が請け負うなど、地域の人々が丸となって進められた。工事は、九

事故に合わないようにと、祝詞が奏上された。続いて齋主中村、参列者代表の玉串拝礼を行い、次いで神宮大麻は宗像支部総代会河野会長に、宗像大社神符は宗像大社氏子会出光会長に各々齋主より手渡されて、祭典は終了した。

「ふくろう部隊」表彰さる 青少年の非行防止に貢献

「少年を非行から守ろう」とボランティアでその活動を続けている宗像町青少年育成パトロール部会(会長 白石彰明・五十名)が、去る十月十九日、福岡市中央区赤坂の福岡市中央市民センターで開催された、福岡県防犯協会県大会に於て、その活動と功績が顕著であるとして表彰を受けた。

同部会は通称「ふくろう部隊」と称され、町内青少年の保護者にとっては強い味方となっているが、当初は玄海中学校PTA関係者が多く大々的な有志者同士の活動に努めていた。その後この活動に対する理解者、賛同者も多くなり、より積極的な活動を行うようになり、平成元年六月、町内有志、玄海中学校、町内野在所の三者

が一体となって部会を結成し全町規模で活動にあたり、部会員は、仕事の合間を縫って下校時の指導、深夜パトロール等に努め、少年少女が非行に走らないように、また事件、事故に遭遇しないようにと、献身的に活動している。お蔭で少年非行に頭を悩ますことの少なくなかった町も、最近では少年非行ゼロに等しく、その活動効果は大である。今回の表彰は、この子供達、地域に対する貢献が多大であることから、「ふくろう部隊」のボランティア活動が認められたものである。

同部会は十一月十五日の福岡県青少年のついで大石会長は、「私達はただ子



供達のためにこの思いから微力を尽して来ただけです。今後も全員、致協力して今迄同様頑張っていきたいと思えます」と語っておられた。

- 一名参拝 十一月八日 第十八回奉納柔道大会
- 十一月九日 佐賀県築路神社宮司藤川正夫氏、同敬神婦人部一六六名参拝
- 第四十五期出光産院(株)店主教育研修開始
- 福岡国税局長修磨今村修氏外一名参拝
- 十一月十日 古賀町老人クラブ五十名参拝
- 長崎県上田グループ企画委員長田川洋香氏外一名参拝
- 十一月十一日 第十八回秋季奉納盆踊り大会(十一月五日迄)
- 東京出光産院(株)長春川壽次郎氏外十一名参拝
- 十一月十二日 出光産院(株)店主女子職員一名参拝
- 十一月十三日 第四十五期出光産院(株)店主教育研修終了
- 研修終了レクリークラブ観劇例会
- 自由ヶ丘小学校社会科見学一五二名参拝
- 南西日本チェーン(株)ニッポン営業部長桐木利春氏参拝
- 十一月十四日 第二十一回宗像大社秋祭奉納盆踊り大会
- 十一月十四日 第二十一回宗像大社秋祭奉納盆踊り大会
- 十一月十五日 月次祭
- 十一月十六日 新賀祭
- 十一月十七日 宗像本因坊
- 十一月十八日 第十九回宮参拝
- 十一月二十一日 前記一宮市宗像神楽会一行中津宮参拝
- 十一月二十二日 新賀祭
- 十一月二十三日 出光産院(株)大塚支店石油ガス課米沢氏外十四名参拝
- 十一月二十四日 出光産院(株)九州研究所竣工式
- 十一月二十五日 出光産院(株)九州研究所竣工式
- 十一月二十六日 宗像大社氏子会参拝
- 十一月二十七日 奉納盆踊り大会

第二十回 宗像大社秋季奉納盆裁展

錦旗の十一月十一日より十五日迄の五日間、当大社第二十回秋季奉納盆裁展が、折願殿待合ロビーに於て開催され、参拝者や愛好者の目を大いに楽しませた。

本年で二十回目となるこの盆裁展に先立ち、永年使用し、老朽化した作品展示台を新調、設備の充実を計り、記念の展示台を備えた。

又、今年より本殿に於て開催奉納盆裁展を、宗像大社奉納盆裁役員をはじめ、会員各々がこの盆裁展の意義、宗像大社の御神徳の発揚を努め、併せて会員相互の親睦を計り、日本の伝統と格調高き美を遺憾なく表現出来る盆裁の普及、創作、技術の研鑽に励み、盆裁発展の一助とする一を

再確認し合った。祭典終了後、二十周年記念として永年に亘り、当大社奉納盆裁展に御尽力いただいた役員六名に対し、感謝状を贈呈した。

折願殿待合展示場(展示された松栢類を中心とした色鮮やかな盆裁は、いずれも宗像市郡内の盆裁愛好家が組織された役員が、丹精込めて仕立てた素晴らしい愛好家はもとより、七五三詣りの家族連れ、若者近熱心に見入り、神都の秋の一日を楽しんでいた。

感謝状贈呈者はその通り

現在沖西町公民館を中心に十一名の部員が、日夜練習に励んでいる。大島は離島のため先生を招いての練習も限られており、独自の練習が中心である。職業も漁師、公務員、自営業、主婦とさまざま、多くのハンディキャップを背負いながらも、少しでも村おこしの役に立てばと、多忙な合間を縫って練習、演奏に頑張っている。

- 社務日誌抄**
- 十一月一日 月次祭
 - 十一月二日 宗像名刀展開催(十一月三日迄)
 - 十一月三日 玄海東小学校遠足(〇名参拝)
 - 十一月四日 明治祭
 - 十一月五日 奉納盆踊り大会
 - 十一月六日 奉納盆踊り大会
 - 十一月七日 奉納盆踊り大会
 - 十一月八日 奉納盆踊り大会
 - 十一月九日 奉納盆踊り大会
 - 十一月十日 奉納盆踊り大会
 - 十一月十一日 奉納盆踊り大会
 - 十一月十二日 奉納盆踊り大会
 - 十一月十三日 奉納盆踊り大会
 - 十一月十四日 奉納盆踊り大会
 - 十一月十五日 奉納盆踊り大会
 - 十一月十六日 奉納盆踊り大会
 - 十一月十七日 奉納盆踊り大会
 - 十一月十八日 奉納盆踊り大会
 - 十一月十九日 奉納盆踊り大会
 - 十一月二十日 奉納盆踊り大会
 - 十一月二十一日 奉納盆踊り大会
 - 十一月二十二日 奉納盆踊り大会
 - 十一月二十三日 奉納盆踊り大会
 - 十一月二十四日 奉納盆踊り大会
 - 十一月二十五日 奉納盆踊り大会
 - 十一月二十六日 奉納盆踊り大会
 - 十一月二十七日 奉納盆踊り大会
 - 十一月二十八日 奉納盆踊り大会
 - 十一月二十九日 奉納盆踊り大会
 - 十一月三十日 奉納盆踊り大会

- 十一月十六日 神理教本院副院長長原俊文氏、(株)学務院理事津田正裕氏外教団連合会一行五十一名参拝
- 十一月十七日 玄海福岡アイオンスクラブ観劇例会
- 福岡市西の浦老々クラブ二十名参拝
- 福岡国税局長内野正昭氏外一名参拝
- 十一月十八日 神新出光会長若杉健太郎氏、長崎県県民連合会議員長安田松寿氏参拝
- 宗像警察署長加藤昌隆氏外八名参拝
- 十一月二十日 関西アポロ(株)社長佐藤治彦氏外四名参拝
- 一宮市宗像神楽会在分けい子氏外四名参拝
- 池田市菊田同好会会長志水蘇水氏外七名参拝
- 中津宮外賀賀丸井芳氏外七名参拝
- 地元総代、協力会連連繩奉製準備作業社
- 十一月二十一日 前記一宮市宗像神楽会一行中津宮参拝
- 十一月二十二日 第十九回宗像本因坊
- 十一月二十三日 出光産院(株)大塚支店石油ガス課米沢氏外十四名参拝
- 十一月二十四日 出光産院(株)九州研究所竣工式
- 十一月二十五日 出光産院(株)九州研究所竣工式
- 十一月二十六日 宗像大社氏子会参拝
- 十一月二十七日 奉納盆踊り大会

宗像大社歌会 俳句作品集(三五七)

ひかりヶ丘 南 風生
木枯の最も高き樹を突かす

藤沢 井上 玄洋
雨降れば色濁らす黄菊かな

福間 森 清
死期迫る蠅蠅を動かして

名古屋 小田 喜一
落日に尾花の尖の白菊初む

福岡中央 力丸 玄風
神苑に日射し真白の返り花

田熊 安部 ゆき
法事終え一ツ済みたる菊日

田熊 力丸 一郎
文鎮の代りの富有柳一ツ

自由ヶ丘 細川 絹子
あるだけの日を使ひきり毛糸編む

日里 花田いつえ
小春日の叩き干す掌にひびきあり

津屋崎 井浦 良介
初春の風に向いて鳥飛び立つ

若松 井手 清隆
草を喰む野生馬に虫残りある



〔ご案内〕 平成五年正月祭 社頭授与品並びに 諸祈願祭齋行

〔ご案内〕

平成五年正月に当大社の社頭に於て、初詣での皆様
に授与致します。縁起守等
のご案内を、紙面を以ちま
して紹介させていただきます
です。

特製福迎え

福迎えは、新春を寿ぎそ
の一年が良い年であります
ようにと願う、縁起守の内
の一つです。竹製の熊手に
神札、お多福面、小判、枳
などを飾ったもので、特大
大・中・小の各種を準備し
ております。

初穂料 一体 一、〇〇〇円

特製干支土鈴

干支は西、酉が羽ばたきし
天高く飛翔するように、来
年こそすばらしい年である
ことを祈念して、単体、セツ
トの一種の土鈴を社頭に準
備しております。

初穂料 一体 一、〇〇〇円

特製鈴矢守

この鈴矢守は、破魔矢、
鐘矢と同じく、ご家庭の災
難、邪悪を打ち破るという
意味があります。鈴矢守の
サイズは長さ九センチ、
干支絵馬、五色吹流し、短
冊などで装飾されておりま
す。皆様方の災難消除、延
命招福を願い来年の新春よ
り、破魔矢、鐘矢と共に鈴
矢守を準備し、社頭に授与
いたします。

初穂料 一体 一、〇〇〇円

干支「二刀彫」

その年の干支を「クスの
木」を材料に用い、伊勢の
名匠に特別に製作を依頼し
た縁起守です。一本のノミ
だけで奉製することから一
刀彫と称します。

この干支守を十二支全部
揃えたと願う事が叶うと言
い伝えられております。来

初穂料 一体 一、〇〇〇円

宗像大社 「祭りごよみ」

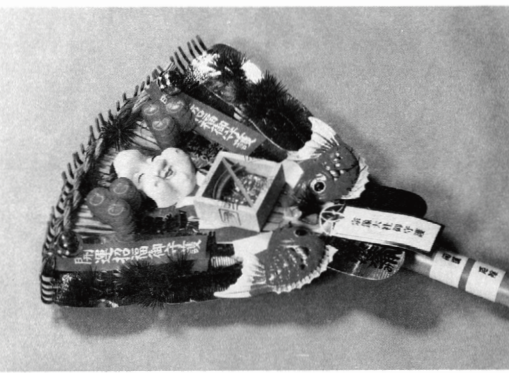
この「祭りごよみ」は当
大社の主な祭典・行事を掲
載しており、丈二十四セン
チ、巾十六センチの短冊型
で、コンパクトに纏められ
ております。

他に縁起守として例年同
様、破魔矢・鐘矢・福迎え・
縁起土鈴・干支土鈴・干支
絵馬等を準備いたしており
ます。

初穂料 一体 三、〇〇〇円
から五、〇〇〇円迄。

宗像大社の御加護をいた だかれ、家庭または会社の 一年間の幸福と繁栄、災難 消除を祈念する、交通安手 家内安全・業務繁栄・商売 繁盛・厄年・厄除・心願成 就などの祈願祭も例年通り 斎行致します。

祭典をお受けになられま
した皆様方には、本殿境内
の神酒授与所におきまして
御神酒を授与致しております。



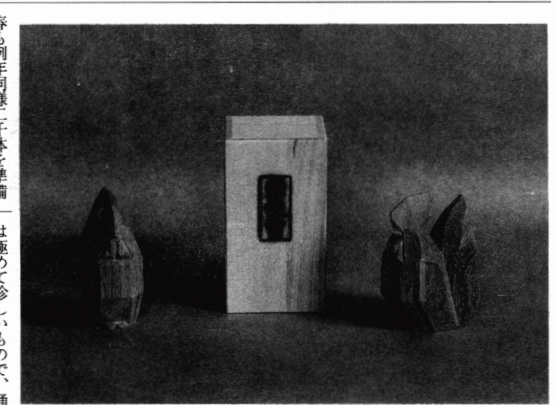
平成五年正月に当大社の社頭に於て、初詣での皆様
に授与致します。縁起守等
のご案内を、紙面を以ちま
して紹介させていただきます
です。

おめでとうございます。この土鈴は可憐
な音色、また素朴な雰囲気
がなんともいえず、毎年多
数の方が受けておられます。
本年はこのセツトの土鈴
の他に、単体を希望される
参拝者の要望に答え、やや
サイズを大きくした土鈴を



準備いたしまして。来年の
干支は西、酉が羽ばたきし
天高く飛翔するように、来
年こそすばらしい年である
ことを祈念して、単体、セツ
トの一種の土鈴を社頭に準
備しております。

春も例年同様千体を準備
いたしております。



宗像大社初もうで交通規制のお知らせ

凡	例
↓ ↑	駐車場出入口
↑	歩行者用道路
⊘	駐車禁止
→	一方通行
⊘	車両進入禁止

